

JOMA通信



Japan Overseas Missions Association 海外宣教連絡協力会 公報

No. 86号

宣教師の 後方支援として

チャーチ・オブ・ゴッド国外宣教部
2020年度 JOMA 書記担当役員
関 なおみ



2、宣教地のためにできること

その後始まったコロナ禍によって宣教地はどのような状況にあるのかと案じつつ私にできることは何かと考え、現地で入手が難しいというマスクを作りました。受け取った方々は喜んでくださり、距離は離れていても心は近くされて日本からの愛と祈りを届けるのに役立ったことを嬉しく思っています。宣教師の後方支援として、祈りと献金の他にこのような方法もあり得るのだと気づかされた経験でした。

これも前年の訪問があつたのことと思う時に、神さまのご配慮に感謝せずにはられません。

3、コロナ禍の中で

コロナ禍によって多くの方々が活動を制限されている中にあります。宣教師も日本への帰国・宣教地への渡航が妨げられていたり、人との交わりが減って孤独な状況にあつたりすると聞いています。私たちはそのような宣教師を思いやり少しでも力になれるよう祈りつつ、上からの知恵を求めていきたいと思つています。

「わたしはあなたを異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたらす者とする。」

使徒の働き13:47

地の果てにまで光をもたらすために召された方々に、そして後方支援をする方々に、主の導きと祝福が豊かでありますように。

昨年からJOMAの書記を担当しております春日井栄光キリスト教会の関なおみと申します。よろしくお願ひいたします。

私は教団内で国外宣教部に所属し宣教師を送り出す側にいる者ですが、私の両親も宣教師によって救いに導かれましたので、宣教師の働きの恩恵を受けている一人でもあります。

1、初めて見る宣教地

コロナ禍が始まる前年、私は教団の宣教地であるメキシコを国外宣教部長の夫と共に訪問させていただきました。

これまでニュースレターを通して知っていた場所を実際に自分の目で見、食べ物と空気を味わい、教会の方々と触れ合つて笑顔を交わすことができた経験は忘れることができません。

言葉も文化も違う国でひたすら主の導きに従い奮闘してきた働きが、40年という歳月の中で実を結び、教会が建て上げられ、クリスチャンスクールを通して若者たちが育っているのを目の当たりにして、今に至るまでの宣教師のご苦勞と涙はどれほどのものだろうかと思わされました。また、現地の人々を愛し主に仕えている宣教師の姿勢と熱意を見て、これまで以上に宣教地への祈りを篤くさせられています。



教団の理念「世界宣教の達成」の為に

キリスト兄弟団 石岡教会牧師 上代 謙
海外宣教委員会 委員長

私たちの教団では久しく宣教師を送り出す働きはできていません。しかし、教団の理念の中に「世界宣教の達成」があり、このために委員会が設立され、毎年海外宣教のために予算化されています。

なかなか宣教師となる人材発掘の機会がないことから、2010年の教団を挙げての青年大会の海外宣教の分科会にOMFの菅家庄一郎師を講師にお招きしたのをかわぎりに、まず信徒の方々に対する世界宣教への啓蒙が必要となりました。

そこで、2011年に海外宣教体験キャンプを聖書学院で開催し、この時から毎年、教団内各教区主催でもたれる集会(聖会、セミナー、修養会、キャンプ等)と海外宣教委員会とコラボレーションをし、集会の一こまを必ず世界宣教のテーマで講師に語っていただくことにしました(宣教師の経験のある講師を各教区にお願いしました)。

また、並行してウイクリフ主催の短期宣教ツアーやアンテオケ宣教会主催の世界宣教セミナーに教団内の若手牧師を派遣しました。

2018年には教団が行ってきた海外宣教の歴史を振り返り、教団主催の全国大会に海外宣教ブースを設け、JOMAの所属する宣教団体のパンフレット配布や書籍紹介を行いました。

同時に、今までの教団の行ってきた世界宣教の働き(台湾宣教ツアー、イスラエル伝道、在米日本人伝道など)の紹介とこれからを課題とする海外宣教プロモーションビデオ(約15分)を製作し、2019年には教団主催の全国大会、各教区主催のすべての集会で上映をいたしました。

そんな中、世界に向けて宣教師を送り出すための啓もう活動と同時に、世界から日本に来ている外国人に対する宣教も世界宣教ではないか、との観点から、昨年は在日ムスリムを視野に入れた「在日外国人宣教セミナー」を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて今年度に延期をいたしました。

本年4月に永井敏夫師を講師に上記の「在日外国人宣教セミナー」を教団内クローズZOOMで開催することになりました。このために、教団内各教会へ「あなたの教会に外国人が来た時の備えがありますか」などのアンケートを実施しています。これらの回答をもとに、一緒に在日外国人への宣教について学びたいと願っています。コロナ禍の中、容易に出入国ができないからこそ、主が開かれた世界宣教の在り方ではないかと思えます。ぜひ、このセミナーのためにお祈りくだされば感謝です。



キリスト兄弟団海外宣教委員会のメンバー

以下に教団内に出した在日外国人伝道セミナーの招きの言葉を紹介しておきます

「在日外国人宣教セミナー」招きの言葉
キリスト兄弟団海外宣教委員会

宣教師とは、未伝地に赴き現地の人に宣教し、現地の人を主の働き人として弟子訓練し、その地をゆだね、さらに新たな宣教地へ赴く人です。そのためには異文化宣教学などの学びと丁寧な語学訓練、さらに資金のための後援会設立や宣教団体との協力が必要です。そういう意味では、志を与えられた一人の宣教師を教会が送り出すには大変な労力と時間がかかります。

しかし、自分の国である日本にしながら旅費も必要なく、徹底した語学訓練も、そして特別な学習もなく宣教できる方法があります。

それが。在日外国人伝道です。

彼らの母国語で宣教できることが最も適切ですが、就職や職業訓練、大学などでの専門科目習得や日本語学習のために来ている外国人は日本の文化の中で、日本の生活スタイルや日本語に馴染もうと努力しています。つまり、極端なことを言うと日本語でも伝道できるのです。

せっかく彼らの方からここに来ていたのに、私たちはこの宣教のチャンスを見逃してはいなかったでしょうか。

彼らの存在に無関心だったとしたら、もしかしてイエス様の大宣教命令に対しても無関心だったかもしれません。「全世界に出ていき、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。」

「父、子、御霊により洗礼を授け、すべての主の教えを守ることによってあらゆる国の人々を弟子とせよ。」

これらのイエス様の言葉は、牧師や宣教師という献身をした人だけに向けられた言葉ではありません。すべてのクリスチャンに語られているものです。

ぜひあなたも、まずイエス様の「全世界に福音を伝えよ、あらゆる国の人々を弟子とせよ」との、この言葉に関心を持ち、そして在日外国人への関心を持っていただきたいのです。コロナ禍で渡航の往来が厳しい状況をきっかけに、おそらく、これからの世界宣教はこのようなスタイルにシフトすることでしょう！

お祈りください・・・

- ◆**日本イエス・キリスト教団**
 - * 1組2名の宣教師が遣わされている国に平和的解決が与えられ、宣教の働きが前進しますように。
 - * 1組2名の宣教師(台湾)の働きが前進しますように。
 - * 世界宣教への祈りが強められ、新しい宣教師を送り出すことができますように。
- ◆**日本ウイクリフ聖書翻訳協会**
 - * 世界的なパンデミックの中、オンラインやリモートを中心に働きが進められています。聖書翻訳・識字教育・エスノアーツ・子女教育等を含むウイクリフ全体の働きに主の守りと導きがあるように。
 - * 『送り出す者として』という宣教師を派遣・支援するための手引書の新装・改訳版が、宣教の働き・宣教師支援への更なる理解と支援に用いられるように。
 - * 小冊子『TCK(Third Culture Kids)のための30日祈りのガイドブック』(OMFと共同発行)が宣教の取り組みについての一助として用いられるように。宣教師家族とりわけ宣教師子女への理解が深まるように。
- ◆**日本バプテスト教会連合**
 - * タイ、チェンマイにて、スポーツミニストリーを通して宣教活動を行っている福間庸平宣教師の働きが実りあるものとなりますように。
 - * 2020年11月から正式にネパール・バクタプル市へカルマチャリア・リチェン師を宣教師として派遣しました。現地での教会開拓の働きが祝福されますように。
- ◆**日本同盟基督教団国外宣教委員会**
 - * 教会形成：現地教会の形成を目指す国外宣教のために。
 - * アジア21：アジア全域を目指す国外宣教のために。
 - * そして世界へ：アジアの教会とともに全世界を目指す国外宣教のために。
- ◆**日本ホーリネス教団**
 - * 伊藤めぐみ宣教師(OMF日本委員会主事)の働きと健康。息子の和志くんのため。
 - * 毎年行われているミャンマー短期宣教のため。青年の参加者が与えられるように。
 - * 新しい宣教師候補が起こされるように。
- ◆**ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)**
 - * ボリビアの治安が不安定な中、現地に滞在する小西宣教師の安全と健康が守られるように。長期滞在ビザが取得できるように。
 - * コロナのためZoomによるオンラインセミナーを国内でいくつも開催しています。オンラインなら繋がることのできる方々もあるので、これらが用いられるように。「この町に教会があつてよかった！セミナー」、「災害支援ネットワークセミナー」、「国際協力セミナー」、「現地報告会、チャイルドサポーターの集い」など。

JOMA協力会員へのご参加と加盟団体候補ご紹介のお願い

JOMAは、各宣教の地での戦いにある宣教師方にとって、また、背後にある宣教団体・教派団体や多くの教会の皆様にとって、より意義のある「活動するJOMA」として、さらに活発に情報や知恵の共有、ネットワークのご提供をして参りたいと願っております。そのために、さらなる必要を満たすべく、JOMA規約第5条に基づき、協力会員(個人：年会費12,000円)を募集いたします。つきましては、皆様ご自身、または周囲の方で、世界宣教に重荷を持つ個人の方の積極的な入会をお誘い申し上げます。入会ご希望の方は、JOMA事務局まで、お問い合わせ下さい。(e-Mail: office@joma.jp)

(参考)JOMA規約 第5条の2：協力会員とは、個人において世界宣教に重荷を持ち、JOMAの活動に協力及び支援をする者とする。総会にはオブザーバーとして参加し、議決権、選挙権および被選挙権を持たないものとする。

なお、引き続き正会員としての加盟団体も募集いたします。海外宣教をおこなっている宣教団体、教派団体が、共に主に在って一つの戦いを勝ち取るために、より強固なネットワークを構築すべく、もし未加入の団体をご存じの場合は、積極的な入会をお誘い下さい。

今後も引き続き、お祈りをお願いいたします。

2021年度 JOMA総会のご案内

下記のようにJOMA総会を開催いたします。正会員の加盟団体の方は事務局よりご連絡をいたしますので、ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

記

日時: 2021年5月11日(火)

場所: Zoomによるオンライン開催

プログラム(予定): 10:00 ~ 12:00 セミナー (メンバーケア・ミーティングと共催)

テーマ: 「独身宣教師のケア」OMF総主事 佐味 湖幸 師

13:30 ~ 15:30 JOMA総会

以上

カイロス (宣教総合論) 集中コースのご案内

世界50カ国以上で広く実践されている宣教チャレンジコース
 (聖書神学、歴史、戦略、残された働き、文化、チームワークなど全9セッション)

日程: 2021年9月14日(火) ~ 18日(土) (4泊5日)

会場: 関西聖書学院

費用: 2万3千円 (授業料1万5千円、食費・寮費8千円) ※4泊5日の場合

<お申し込み・お問い合わせは関西聖書学院まで>

関西聖書学院(KBI) ※受付時間: 火~金AM8:30-PM4:00

TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601 Email:kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp

SNSもよろしくお願ひします



「JOMA宣教セミナー2020」レポート

日時: 2021年2月23日(火/休日) Zoomによる オンラインミーティング

I部10:00~12:00 新会員紹介と交流会・グループ別討議

II部13:00~15:00 全体セミナー「宣教師とその家族のケア」と 小グループ分ち合い

特徴: 「参加型」セミナー / Zoomにより海外在住の宣教師も参加出来た / 参加者を「会員団体とその関係者のみ」とした 参加費: 無料 (但し、自由献金受付)

< I部 全体交流会・グループ討議 > 12団体/58名参加

・午前の最初は、昨年度加入された「ハンガーゼロ」に自己紹介をして頂き、その働きの必要と現状をお知らせ頂き、世界宣教とその今後の働きの広がり強く教えられた。
 ・その後、グループに分かれ、事前に提出頂いた「祈祷課題」を以て祈り、会員団体の働きの特徴やこれまでの経過等が発揮される事を願い四つの討議テーマを「会員からのアンケート」結果を受けて ①宣教師の発掘 ②宣教マインドの育成 ③宣教師・母教会・支援会・支援者(派遣団体) ④宣教師と宣教地 と設定し、発題(問題提起等)も会員団体よりご奉仕頂き、自由に討議して頂いた。討議された内容は、別途記録をお願いした。

< II部 全体セミナーでの学び・小グループ分ち合い > 13団体/61名参加

・午後は通常のセミナー形式で上記のテーマを掲げ、「OMF宣教師」であり「GMCN日本代表」でもある菅家容子師を講師に迎え、異文化で労する宣教師へのケアばかりではなく、その働きを支える「家族(妻・子ども達)」へのケアの必要とあり方等が分かり易く、且つ、多面的なあり方として紹介された。宣教団・教団・支援会・母教会等の適切で協力的な対応が求められている事が分った。受講後、九つの小グループに分かれて課題の確認・分ち合い等がなされ、充実した時となった。(文責: セミナー担当・吉永輝次)

◆JOMA事務局移転のご案内◆

新住所: 〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-9-9 インマヌエル富士見台キリスト教会内

ホームページ http://www.joma.jp/ / Facebookページ http://fb.me/JOMA.Office

メールアドレス: office@joma.jp (ホームページ、Facebook、メールアドレスは変更ありません。)

